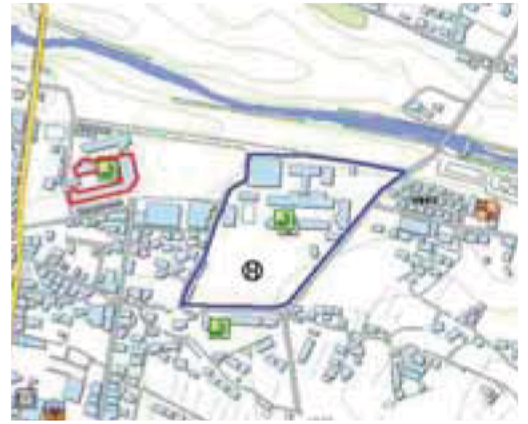


●その他の質問事項
・児童相談所の専門性の向上と組織・機能の一元化
他

答 消防無線の受信については、有効な情報収集手段となり得ますが、課題もあるため、今後の研究課題とします。また、GISの活用については、避難所及びヘリポートのデータを登録しており、今後は防災拠点等のデータも登録していく予定です。なお、道路やライブラインの被害状況に関する情報発信での活用については、県民にもわかりやすい伝達手段の一つであると考えています。現在、災害時の道路通行止め等の情報については、道路管理者により整備が進められていますが、ライブライン等についても技術的課題などについて関係機関と連携し、検討していきたいと考えています。



三重県ホームページGISでの避難所情報

新たな重点プログラムを設置を
自然災害に強い県土づくり
中嶋 年規議員
自民・無所属・公明議員団(旧志摩郡選出)

問 知事が提唱する「県民がしあわせを感じる」ためには、自然災害に強い県土づくりが不可欠です。しかし、知事が県政の柱とらえている重点プログラムには、主に津波対策や建物の耐震化などを中心としたプログラムはあるものの、昨年の自然災害により多数発生した土砂災害、河川災害や海岸堤防の崩落等への対策が位置づけられていません。未曾有の自然災害が発生した今日、被災した地域の「復旧」「被災前の活力を呼び戻すための「復興」、そして同様の被災地を出さない「予防」という三つの観点での積極的な施策が必要だと考えます。そこで、「県民しあわせプラン」の戦略計画を見直し、「自然災害からの復旧・復興・予防」を新たな重点プログラムに設定して施策展開すべきと考えますが、所見をお聞かせします。

答 復旧など自然災害への対応は、政策・事業体系と重点プログラムという戦略計画の枠組みを超えた緊急課題として認識しており、「平成十七年度県政運営方針(案)」の中でも、これについて記述したところであります。今後県としては、重点プログラムの優先度合いを超えた重要課題として、できる限り積極的に取り組んでいきます。なお、新たな重点プログラムの設定については、今回の災害の検証を十分に行った上で今後の検討課題とさせていただきたいと考えています。



河川の増水による浸水状況

問 自然災害の本当の怖さは実際に遭遇してみなければ実感できないものだと思います。その実例として、これだけ東南海・南海地震が話題になっても、実際は災害に備える意識が低いという現実があります。しかし、日頃の防災意識により、初動体制、人命救助や復旧の取組などに大きな差が出てくると思います。このような状況の中、昨年は多数の台風上陸や大地震の発生により、その被害は本当に残念な結果となりましたが、一方で県民の防災意識が相当高まったとも言えます。そこで、まさにこの機会をとらえて、将来の大地震に備え、県民の防災意識高揚を図るため、県

県民の防災・危機意識の高揚を
防災対策
日沖 正信議員
新政みえ(旧員弁郡選出)

●その他の質問事項
・医師不足対策
他

答 復旧など自然災害への対応は、政策・事業体系と重点プログラムという戦略計画の枠組みを超えた緊急課題として認識しており、「平成十七年度県政運営方針(案)」の中でも、これについて記述したところであります。今後県としては、重点プログラムの優先度合いを超えた重要課題として、できる限り積極的に取り組んでいきます。なお、新たな重点プログラムの設定については、今回の災害の検証を十分に行った上で今後の検討課題とさせていただきたいと考えています。

●その他の質問事項
・観光振興
他



みえ防災コーディネーター養成講座のまよう

答 民あげての行動を起こす必要があると考えますが、所見をお聞かせします。
台風二十一号や新潟県中越地震等により、災害への備えや避難の問題などから、県民の防災意識高揚への新たな取組の必要性を強く感じたところであります。今後は、行政が行う啓発活動だけではなく、県民の皆さんや自主防災組織など多様な主体による活動が重要だと考えています。このため、防災活動を行っている団体、リーダーや「みえ防災コーディネーター」などの活動支援を通じて、地域のネットワークの仕組みづくりを推進し、持続性のある防災意識の高揚と地域の防災力向上に繋げていきたいと考えています。

